

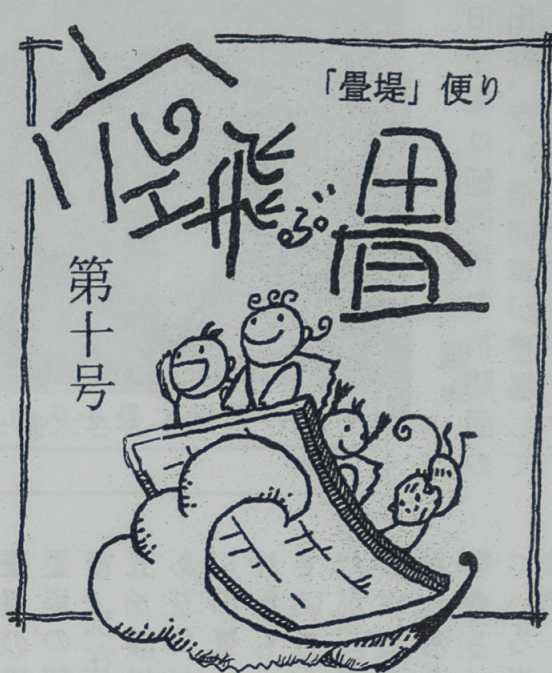
いよいよ夢の実現。畳堤の
モニメント（北町）横に古
来の畳堤（昭和初期築堤）と
平成の畳堤の見学コーナ
ーが完成しました。
平成十九年三月二十四日、
そのオープンを祝う完成記
念式が盛大に開催され、来賓
や五ヶ瀬川の畳堤を守る会
会員、北町区、一般を含めて

約百五十人が詰めかけ式と
イベントを楽しみました。
心配された雨も降らず、
曇りがちながら絶好の日と
なった午前十一時に開会。北
町の裏通り、水神さま前の駐
車場が会場になりました。主
催は五ヶ瀬川の畳堤を守る
会、共催は国土交通省延岡河
川国道事務所、延岡市、自主

「畳堤」展示コーナーオープン式

モモさんの情感あふれる詩に感動
うた

「畳堤」便り



第十号

平成19年4月20日

発行 五ヶ瀬川の畳堤を守る会
編集 西本師子
住所 延岡市北町1-14
電話 0982-32-2226
FAX-0982-32-2229

『今日は五ヶ瀬川沿に延岡の水の歴史を語る「畳堤」の常設展示場の完成をお祝する日です。会としては夢の実現です。これも国交省延岡河川国道事務所の意欲と支援あってこそ。感謝します。会でもこれまでさまざまな啓蒙活動をしてきましたが、畳堤の意味するもの「協働の力」で街を守る大事さを改め



大勢の参加者で賑わいました

防災組織連絡協議会、延岡のふるさとをつくる会、城山防災組織など。



会長挨拶

て感じましょう。作詞作曲あいた桃木さんが「畳堤の詩」を披露します。楽しんでください」と会長の西本が挨拶。来賓挨拶では首藤延岡市長が「延岡の貴重な民族遺産」として称えました。的場所長も「延岡の河川を守るため取り組んでいますが市民との協働が大切。畳堤を災害のシンボルとしていきましょう」と挨拶。来賓には市議会議長、総務部長、消防本部長、川中地区会長、北町区長、ふるさとをまもる会副会長など多数の参加がありました。

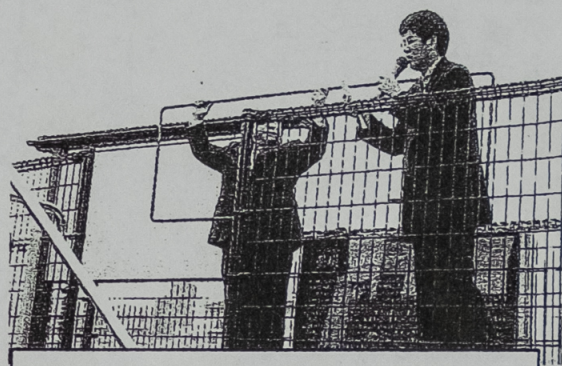
岩崎出張所長が説明

デモンストレーションとして地元北町の子供代表、花田奈央さん（延岡小3）と甲斐よし子さん（同5）らが平成の畳堤の畳入れを披露して参加者から温かい拍手を浴びていました。平成の畳堤は子供でも持てる軽さの素材が使われ、また水には浮かない工夫がされています。



平成の畳堤に畳を入れる子供代表

旧畳堤は延岡市の消防団の出番。赤い消防車が登場して六人の団員によって号令とともにきびきびと畳が差し込まれました。



岩崎出張所長（右）の説明

つづいて岩崎出張所長が旧畳堤の構造の内部と平成の畳堤の解説をしました。その後、現在工事が進行している五ヶ瀬川護岸工事の説明がありました。

旧畳堤は昭和初期に作られたものでかなり老朽化しているものと推定されましたが、延長九百八十メートルのうち1ブロックを調べたところ今でも十分に使える智恵と工夫が内部に詰まっている事が判明「先人が必死に街を守ろうとした証。更に研究して土木遺産として価値があるのではないかと、現

在、宮崎大学工学部の教授が研究を進めています。」と説明。一方、平成の畳堤も随所に工夫が施されていました。これらの説明を参加者達は感心して聞いていました。

畳堤のモニュメント（平成十三年七月 国交省延岡工事事務所（当時）北町区によって建設された）横に説明板が立てられ、コーナー内部には平成の畳堤と昭和初期に生まれた畳堤が同時に見学できる仕組みになっています。コーナーはフェンスで囲み、また、見学場所の階段には手すりを取り付けてケ見学者の安全が配慮がされています。誰でも自由に見学できるため参加者たちも展示コーナーに入って思い思いに見学していました。

式典会場内の一角に展示コーナーが設けられました。展示品は旧畳堤の分解した塊や一部と説明文。また、「畳でまちを守ったおはなし」と題した紙芝居のモデルなども展示されみなさんの興味を引いていました。



説明板

会場は溢れるほどの人出で、食事を準備する日赤奉仕団員「もおおいそがし。豚汁の良い臭いが漂ってきました。」



日赤奉仕団のみなさん

MOMOさんの

心地よい歌声



演奏する桃木さんのライブ

かに 時を刻んでいく」
川風に吹かれながら聴くMOMOさんの詩は、少年の日のある日の川の風景そのもの。誰もがあこがれている古き良き時代を彷彿とさせます。

「五ヶ瀬の 河原の 畳堤
を さあながめて 帰ろ
う あの日にかえろ
う」

詩で先人の遺した畳堤は未来の子供達へと繋がっていくことでしょう。

プロフィール

桃木さんは、養護学校の教諭で音楽ボランティア活動を行なっています。現在は都城養護学校小林校勤務。この日は小林から駆けつけてくれました。

フィナーレは

にぎやかに餅つき

正面に臼と杵が持ち出され、にぎやかに餅つき。おめでたい完成式を祝って参加者にも振る舞われました。餅つきにははっぴ姿の首藤

市長、的場所長が大張り切り。最後に川島消防次長が一本締めとなりました。その後は日赤奉仕団の団員が準備した餅やおにぎり、豚汁が振る舞われて大いに賑わいました。市の防災推進室、市消防本部、日赤奉仕団、延岡のふるさとを守る会などが前夜から奔走して設営をしていただきました。



的場所長（左）と首藤市長も餅つきに大張り切り

一木一草

花冷えのころとはいえ、櫻はどこもみごとに咲き誇り、城山の電飾も今が盛りだ。

昔に比べて風情がなくなつたのはちよつと寂しいが、朝から場所取りに苦労する人も多いらしい。つまり賑わいは変らないのだろう。

そういえば「ゴザ貸します」の板をぶら下げた小屋がけの店は何時か姿を消している。時代とともに花見の宴も様変わりしている。

カラオケを持ち込んで賑やかに盛り上がる一団、弁当を食べてさつと帰って行く一行は二次会が待っているだろう。延岡近郊に目をやるとしよう。静かに花を愛でようと思うなら、北浦方面がお奨め。

特に三八一号線沿いの花が美しい。更に須美江の七つ島展望台の櫻も青い海をバックに悠然とした姿で咲いている。

櫻の盛りは足早だ。ほんの一時（とき）でも花の風情を楽しむ心の余裕を持ちたいものだ。

西本

先人の知恵に脱帽

畳堤の中身、頑強な造り

と工夫に驚く

畳堤の中身はどうなっているのか？とこの度、国交省延岡河川国道事務所では、五ヶ瀬川沿いに残る九百八十メートルの畳堤のうち約二メートルを調査。その結果驚くべき事実が明らかになりました。一見、老朽化が心配された畳堤は外見と違い意外に頑強な造りでした。中身を紹介します。基礎部分は直径十六センチと十ミリの鉄筋が使われていました。コンクリートは石の比率が高く強度を高めています。柱の中は直径十六ミリの鉄筋四本、上枠の中には同十ミリの鉄筋二本が入っており、上枠の鉄筋は太い針金で巻いてあり、これは二本の鉄筋が平行に保たれるように巻いたものと思われま

多く、茶碗や瓦まで混入されていた。それだけ強くなる上、当時のコンクリートの材料が不足がちだったと推定されます。調査した岩崎出張所長は「昭和初期なので、かなりぼろぼろになっていくもの」と予想していましたが、頑丈に出来ているので今も充分利用できます」

メリージュ延岡にも説明文

県外のお客にもPRを

畳堤の説明板が紺屋町のホテルメリージュ延岡の五ヶ瀬川沿いに立てられました。珍しい文化遺産の畳堤は全国的にも貴重な治水施設。そこで延岡の防災のシンボルであるとして書いた説明板を立て、県外から来た宿泊客にも知ってもらおうという目的。五ヶ瀬川を臨むホテルのロビーから畳堤が見られるため、場所としては最適。これは延岡河川国道事務所が立て、説明文は五ヶ瀬川の畳堤を守る会が協力しま

した。

MOMOさんの
「畳堤の詩」
をCDに
素敵な写真を付けムードたっぷり

畳堤コーナー完成祝いで発表された「畳堤の詩」(うた)がCDになります。五ヶ瀬川の畳堤を守る会が進めているもので、CDにはMOMOさんの歌の他に3曲を収められています。既にスタジオでの歌の収録も終わり、後は写真入りの盤の完成を待つばかり。歌は「畳堤の詩」とカラオケ編、他に県北の風景を歌ったMOMOさんのオリジナルが収められていますので、ご期待ください。楽しい畳堤サブレ お菓子の虎屋では「畳堤サブレ」の名前で新案のお菓子を試作中。名の通り畳の形をお菓子にしたもので、ニュータイプのアイデアお菓子が近く登場します。

編集後記

皆様お元気で過ごしのことでしよう。

畳堤展示コーナー完成式には多数の参加、ありがとうございました。常設展示の開設は五ヶ瀬川の畳堤を守る会の長年の祈願でした。場所はモニュメント横(北町)です。今回の畳堤便りをご覧になって式の熱気が伝わってくるのでは。一方、ホテルメリージュでの説明板設置は旅のお客様のために立てられました。なにより会員の皆様のPRこそ大切で

す。展示コーナーへ足を運んで下さって多くの知人に説明してください。ご協力をよろしく願います。これからも、楽しい企画を計画しますのでお楽しみに。

五ヶ瀬川の畳堤を守る会
会長 西本師子
問い合わせは110982
(32) 2226 (西本)